



提供：成瀬さん

熱気球



成瀬 夏織さん (28歳、生路)

熱気球

地上にあるターゲット(目的地)に向けて、上空から砂袋を落とし、ターゲットにどれだけ近づけることができるかを競う。風を把握し、正確に気球を操作する力、地上クルーとのチームワークが求められる。

「熱気球はスカイスポーツ」
東浦に熱気球の世界選手権(8月)に出場した選手がいる。はたして、熱気球に競技がある事をどのくらいの方が知っているだろうか。成瀬さんに出会うまで、熱気球に競技がある事を知らなかった。

「認知度が低いのが悩み」と笑う成瀬さん。「世界選手権に出ることで、皆さんに知ってほしい」と抱負を話した。お父さんの趣味が熱気球だった影響で、物心ついたときから熱気球が身近にある環境で育った。審判員の資格を取得した中学3年生の頃から本格的に始めた。部活の大会とは違い、年齢や職業など様々な背景をもつ人たちと出会える面白さから、熱気球にのめり込んでいった。

熱気球の経験値は飛行時間で測る。1回の平均飛行時間は1時間で、成瀬さんは60時間の飛行経験を持つ。しかし、天候に左右される乗り物。月3回練習日を設けても、3回飛べるとは限らないう。成瀬さんは「生で見たら虜になります。熱気球が地上から飛び立つ姿は想像を超える光景です」と話してくれた。熟練クルーでも毎回感動するという光景を、ぜひ見に行きたい。



提供：成瀬さん



写真の(2~3人用)気球を立ち上げた時の大きさは、地上から約20m。役場の屋根より少し頭が出るくらい大きいそう！

(取材：7月27日時点)